

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

マンションの耐震費用を区が助成

安心して住み続けるために 地震にそなえて活用を

東京都防災会議があらたな想定を発表したことで、一気に震災対策をとらなければいけないという認識が一層広がりました。マンションの対策は単独ではできず、時間もかかります。財産を守るために区の制度を紹介します。活用してください。

区内の マンション数と現状

品川区の資料（耐震改修促進計画）によると、2007年時点で品川区内にあるマンションの数は、9128棟。新耐震基準ができた昭和56年6月以降に建築された建物数は6120棟です。新耐震以前に建設された建物で耐震性があると推定できる建物も合わせると「耐震性のある」建物は8406棟です。

区は耐震性ないマンションの耐震化めざすという

区は、マンションの耐震化率は92.1%なので、目標の90%を満たす状態だが、722棟の耐震性のない建物について、更なる耐震化をすすめる必要があると「耐震改修促進計画」で述べています。この指摘は大事です。しかし、どう進めるかが問題ですが、

具体策は明確ではありません。担当課長に聞くと、

「今は木造住宅の耐震化が優先なので、」と語尾を濁します。

しかし、マンションの耐震化も重要な課題です。倒壊したらがれき処理などを含む対応は、木造住宅以上に変な作業になるなど、影響は大きいのですから。いろいろか検討

マンション耐震化支援策

制度名	補助額	実績(23・24年度)
耐震診断助成	限度額150万円(2分の1補助)	6件と2件の8件
耐震補強設計助成	限度額100万円(3分の1補助)	0件
耐震改修工事助成	限度額2500万円(3分の1補助)	0件

討しようとしているマンションにアドバイザー派遣をしています。この制度も利用してはいかがでしょうか。命と財産を守ることを優先させるために、居住者と一緒に検討を始めることが大事ですね。

制度の周知を積極的に活用してこそ生きた制度になる

区は、前頁の表にある制度をつくり昨年度から実施していますが、あまり知られていないために、実績はまだわずかです。

せっかく予算化したのですから、活用されるよう周知を徹底するべきではないでしょうか。区民に活用してもらってこそ生きた税金の使い方です。そこで、南は担当課長に周知をどのようにしているのか

聞くと、区のホームページに載せているのと、広報でお知らせしているだけだというのです。昨年の大震災後、問合せは160件あったそうです

が、表のとりの数字にとどまっています。その理由は何かをつかむこと、区民が今、何をどう取り組んだらいいのか考え始めているのですから、

その動きにしつかり応えて、積極的に活用できるように宣伝を徹底することなど区に求めています。

2012年 国民平和大行進

2012年

聖蹟公園（北品川2丁目）
1丁目）まで行進しました

鈴ヶ森道路児童公園（南大井

5月らしいさわやかな天候の7日、平和行進に南も参加しました。

品川区内で活動する様々な団体の方々と一緒に行進で、道行く人に「一緒に歩

きませんか」と声をかけながら・・・

今年の通し行進者は3人。その中に80歳という方がいました。驚きです。90日かけて広島まで歩きとおすのです。

沿道では、手を叩いたり振ったりする方、マンションのペランダから手を振る方たちに、マイクでエールを送る光景など、国道1号線沿線が一体になって、核兵器の廃絶と原発撤退・再稼働ノーを求めるような、久しぶりにそんな気分あふれる行進でした。



生活・雇用・子どもだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員

電話(3790)1523